

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週				
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理 (知的財産、 法令順守、 持続可能性 を含む)およ び技術史	技術者倫理 (知的財産、 法令順守、 持続可能性 を含む)およ び技術史	説明責任、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動に関する基本的な責任事項を説明できる。	3					
				現代社会の具体的な諸問題を題材に、自ら専門とする工学分野に関連させ、技術者倫理観に基づいて、取るべきふさわしい行動を説明できる。	3					
				技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を認識している。	3					
				社会における技術者の役割と責任を説明できる。	3					
				情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	3					
				高度情報通信ネットワーク社会の中核にある情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。	3					
				環境問題の現状についての基本的な事項について把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。	3					
				環境問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	3					
				国際社会における技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	3					
				過疎化、少子化など地方が抱える問題について認識し、地域社会に貢献するために科学技術が果たせる役割について説明できる。	3					
				知的財産の社会的意義や重要性の観点から、知的財産に関する基本的な事項を説明できる。	3					
				知的財産の獲得などで必要な新規アイデアを生み出す技法などについて説明できる。	3					
				技術者の社会的責任、社会規範や法令を守ること、企業内の法令順守(コンプライアンス)の重要性について説明できる。	3					
				技術者を目指す者として、諸外国の文化・慣習などを尊重し、それぞれの国や地域に適用される関係法令を守ることの重要性を把握している。	3					
				全ての人が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発を実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを説明できる。	3					
				技術者を目指す者として、平和の構築、異文化理解の推進、自然資源の維持、災害の防止などの課題に力を合わせて取り組んでいくことの重要性を認識している。	3					
				科学技術が社会に与えてきた影響をもとに、技術者の役割や責任を説明できる。	3					
				科学者や技術者が、様々な困難を克服しながら技術の発展に寄与した姿を通し、技術者の使命・重要性について説明できる。	3					
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	4					
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	4					
				目標の実現に向けて計画ができる。	3					
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3					
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3					
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	4					
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3					
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3					
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3					
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3					
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3					
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3					
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	3					
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	4					
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	4					
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	4					
				評価割合						
					試験	発表	レポート	合計		
総合評価割合	15	10	75	100						
基礎的能力	15	0	0	15						
専門的能力	0	0	70	70						
分野横断的能力	0	10	5	15						